

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

校 長 出口 和宏
学校住所 岐阜市西秋沢 2-363-1 電話 058-239-9712

1 会議の名称 岐阜県立岐阜本巣特別支援学校学校評議員会

2 会議の構成 委 員 今井 正聰 株式会社サン・シング東海 常務取締役
岩越 康真 あじろ診療所副院長・ひめゆり療育センター副センター長
岡崎 良高 本巣市障がい者就労支援センターみつば所長
縄田 栄子 本巣市本巣民生児童委員
早川 隆雄 西秋沢地区自治会長

(委員名は五十音順)

学校側	井後さとみ	PTA会長	阪之下弘則	小学部主事
	出口 和宏	校長	中村 真章	中学部主事
	丸山 忠	事務長	小野島弥生	高等部主事
	西村三紀郎	教頭	駒田 武彦	教務主任
			松原多香音	支援センター長

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日 時：平成25年7月18日(木) 午前9時30分～11時10分
場 所：岐阜本巣特別支援学校校長室
出席者： 委員5人、学校側8人

5 会議の概要

- (1) 開会挨拶と学校評議員の委嘱
- (2) 授業参観及び施設見学
- (3) 全体会議
- (4) 本校の現状と課題説明

6 会議の内容

- (1) 校長挨拶
 - ・今年度新入生53人を迎え、全校児童生徒数は198人となりました。創立時90人程度でスタートし、今年度で6年目ですが、児童生徒数は2倍以上となりました。現在本校は、高等部卒業後の生徒の社会参加や社会的自立を目指して教育活動を行っています。この後、児童生徒の様子や高等部の作業学習の実態をみていただきますが、忌憚のないご意見をよろしく願いたします。
- (2) 授業参観及び施設見学 (略)
- (3) 全体会議

本校の現状と課題説明

- ・校長より資料をもとに、本校の現状と学校運営上の課題を説明 (項目のみ記載)

本校の現状について

- ① 本校で大切にしたいことについて
- ② 教育計画について

- ③ 在籍児童生徒数及び市町村別児童生徒数について
- ④ 高等部卒業後の進路先について
- ⑤ c a f é 和ーなごみーの営業について
- ⑥ 接客アプリの開発について

本校の課題について

- ① 職員の資質向上について
- ② インクルーシブ教育の推進について
- ③ 地域支援センターの地域との連携について

高等部作業製品の価格について

- 意見1： 全体的に少し安いのでは。原価はどうなっているのか。
- 学校側 原価を割ることはないが、実習なので労働力に対して価格を上乘せすることはしていない。
- 意見2： これ以上高いと売れない心配はあるか。ブックカバーは400円となっているが500円でもよいのではないか。
- 学校側： それでは500円ということにしたい。
- 学校側： 木工製品の質等を全体的に上げたい。例えば木の質をあげる、釘は使用しない、量を増やす等の努力をしていきたい。
- 学校側： 価格はこれでお認めいただけるか。
- ※意義なく価格については妥当であると認めていただいた。

授業・施設を見学していただいてのご意見や感想及び質疑応答

- 意見1： 学校をみて明るさを感じた。子どもたちの気持ちの良いあいさつができています。このままさらに笑顔の明るい学校を目指してほしい。またリスク管理をしっかりやってほしい、特にこの時期は熱中症対策をしてほしい。
- 意見2： 教員が子どもの気持ちを理解し、集団でまとめていく力はすごいと思う。これからも引き続きお願いしたい。
- 意見3： 保護者からの要望にはどのように対応しているか。私どもの施設はB型の就労施設だが、まだ余裕があるので見学だけでもよいので、是非見に来て欲しい。
- 学校側： PTAからの要望は、PTA役員会から各部の主事へ話がいき、そこから学校として対応してもらっている。PTA役員としては、無理だと思ふような要望でも、立場として学校側に伝えている。それに対して学校から、無理なことは無理だときちんと保護者に納得のいく説明をもらい、対応できることには対応してもらっている。
- 意見4： インクルーシブ教育とはどういうものか。
- 学校側： 将来の共生社会を目指すもので、障がいのある子もない子もすべて含めて（包容して）、教育することを進めていくという考え方である。特別支援学校だけでなく、小学校や中学校でも保護者や本人のニーズ等に応じて障がいのある子を学べるようにするものである。障がいのある人もない人も地域で支え合っていくことを目指すものである。
- 意見5： 学校近くの交差点の道路側溝に岐阜本巣特別支援学校の看板が立っているの、視野が狭くなり危ないという地域住民の声があった。
- 学校側： 県に申請して立ててもらっているの、県の土木事務所と相談して検討する。

7 会議のまとめ

本日はご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。また、この会で貴重なご意見をいただきましたので、いただいたご意見を参考に学校改善に努めていきたいと存じます。なお、評議員会という会の場合だけでなく、日常的にもご意見いただきますようよろしくお願いいたします。

次回は1月16日頃の開催を予定しています。